

「コンプライアンス・リスクマネジメント方針」

セレスは、高い倫理観に基づき、公正かつ透明な事業運営を通じ、社会からの信頼に応え、法令遵守に留まらず、社会の変化を先取りしたリスク管理を行うことで、持続可能な企業価値向上を目指す。

汚職・贈収賄の禁止と利益相反の管理

国内外の取引先等に対し、不適切な利益供与・受領を禁止する。社会通念を超える接待・贈答を排除し、会社の利益と個人の利益が衝突する「利益相反」を未然に防ぐための管理を徹底する。

「不正取引」「マネー・ロンダリング」の徹底排除

フィナンシャルサービスや暗号資産関連事業の健全性を担保するため、マネー・ロンダリングやテロ資金供与、拡散金融への加担を徹底して排除する。

高度な本人確認と取引モニタリングを実施し、不正な経済活動を許容しない強固な防波堤を構築する。

反社会的勢力との関係遮断

社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、警察等の外部専門機関と連携し、組織として毅然かつ法的に対応する。

公正な取引と自由な競争の維持

独占禁止法、取適法等の関連法令を厳守し、優越的地位の濫用や不当な取引制限を排除する。

ビジネスパートナーとの対等かつ公正な関係を維持し、デジタルマーケティングおよびフィナンシャルサービス領域の健全な発展を牽引する。

AI 利用リスクの管理

AI 利用に伴う知的財産権の侵害、情報の漏洩、誤回答等のリスクを全社リスク管理体制に統合する。

当社に適用される法令を遵守するとともに、国際的な AI 規制・ガイドラインの動向を注視・参照し、技術の進化に伴う新たな社会的課題に迅速に対応する。

全社リスク管理体制の高度化

リスク管理委員会を中心に、財務、法務リスクはもとより、サイバー攻撃等のセキュリティリスク、さらには気候変動や人権への依存・影響といった、ESG 領域を含む全社リスクを網羅的かつ定量的に特定・分析し、特定されたリスクを未然に防ぎ、適切に低減・制御することで、不確実な経営環境における持続的な企業価値向上を追求する。

緊急事態における事業継続性の確保

大規模災害やシステム障害等の有事において、迅速に指揮命令系統を確立し、重要業務を継続・早期復旧させるための体制を整備し、組織の危機対応力を高める。

内部通報窓口による透明性の確保

自社員、取引先に加え、求職者も利用可能な「内部通報窓口（社内外窓口）」を設置・周知する。社会の変化や法改正に迅速に対応し、通報者の匿名性を厳重に保護し、通報を理由とした一切の不利益な取り扱いや取引停止等の報復行為を厳禁することを約束し、採用プロセスにおいても公正さと透明性を担保する。

取締役会による監視と独立性の担保

内部統制システムに基づき、取締役の職務執行に対する取締役会の監視機能を強化する。独立性を担保された監査等委員会および内部監査部門が、実効性のある監査を実施することで、グループ全体のガバナンスの健全性を維持する。